

「平成28年度独立行政法人医薬品医療機器総合機構契約監視委員会（第2回）」
議事概要

I 日 時

平成28年9月6日（火）13:00～15:00

II 場 所

独立行政法人医薬品医療機器総合機構6階 会議室1～3

III 出席委員（敬称略）

中村 洋（慶應義塾大学大学院 経営管理研究科 教授）

松田 憲二（有限会社マツダ・ビジネス・コンサルティング 代表取締役）

和田 義博（公認会計士）

◎疋田 英一郎（独立行政法人医薬品医療機器総合機構 監事）

○大塚 美智子（独立行政法人医薬品医療機器総合機構 監事（非常勤））

※ ◎は委員長、○は委員長代理

IV 議 題

（1）審議事項案件

- ① 10月から12月にかけて入札公告又は契約締結を予定している案件（一般競争入札【最低価格落札方式】を除く。）に係る事前点検について
- ② 4月から6月にかけて調達した案件に係る以下の内容についての事後点検について
 - I：随意契約等における価格交渉状況
 - II：一者応札・応募となった案件の次回改善策
 - III：低落札率案件の予定価格設定等

（2）その他

V 議事内容

- (1) ① 平成28年10月から12月にかけて入札公告又は契約締結を予定している案件（一般競争入札【最低価格落札方式】を除く。）に係る事前点検について
- ② 平成28年4月から6月にかけて調達した案件に係る以下の内容についての事後点検について
- I：随意契約等における価格交渉状況
 - II：一者応札・応募となった案件の次回改善策
 - III：低落札率案件の予定価格設定等

標記について審議及び報告が行われた。主な概要は以下のとおり。

委員からの主な質問・意見及び当機構の回答	
質問・意見	回答
<p>① 一者応札となった案件については、その原因の分析に努めること。特に前回調達における落札者と異なるベンダーによる一者応札だった場合には、前回落札者が入札に不参加だった理由を調査し明確にすること。</p> <p>② 入札の際に競争原理が機能すれば、落札価格は安価になるため、応札者数を増やすよう取り組むこと。ただし、極端に安価な入札となった際には、履行の品質に問題がある場合もあり、価格と品質のバランスが取れた調達を行うこと。</p> <p>③ 最低価格落札方式による一般競争入札を行う際に、何らかの事前審査を要する場合には、審査が不透明になる可能性があるため、総合評価落札方式へ変更すること。</p> <p>④ 企画競争で調達を行った際には、その履行後、当初設定した予算額の妥当性について検証を行い、その結果を次回調達時に活用すること。</p>	<p>ご意見のとおり、努めてまいります。</p>

(2) その他

平成28年9月～12月調達予定案件一覧表（最低価格落札方式）についての報告が行われた。